



大阪国際空港が定時運航率世界第1位に ～「OAG Punctuality League 2014」中規模空港部門～

世界の航空関連情報を提供するOAG(※1)が実施した定時運航率ランキング調査「OAG Punctuality League 2014」(※2)において、大阪国際空港が中規模空港部門(※3)で世界第1位となりました。

大阪国際空港が、お客様をお待たせしない、ご利用いただきやすい空港であるために、お客様に接するスタッフだけでなく、航空機運航を直接支えるスタッフなど、あらゆる空港関係者のチームワークが定時運航につながり、評価をいただけたことを大変光栄に受け止めております。

今回の結果を励みに、定時運航の確保を通じて、お客様がよりご利用しやすい空港づくりを、関係者一丸となって努力してまいります。

2015年2月23日に大阪国際空港にて授賞式が行われました。



(写真左から) OAGセールスマネジャー 千葉 隆義、Theng Hui Low, Sales Director-Japan/Asia Pacific、Mark Clarkson, Business Development Director、新関西国際空港(株)代表取締役副社長 春田 謙、大阪国際空港ターミナル(株)代表取締役社長 岡本 仁志 (敬称略)

○ 参考 OAG Punctuality League 2014 (2014年平均定時運航率ランキング)

【中規模空港の部】

順位	空港名	国・地域	2014年(暦年) 平均定時運航率
1	大阪国際	日本	93.2%
2	モスクワ	ロシア	89.8%
3	コペンハーゲン	デンマーク	89.8%
4	ソルトレイクシティ	アメリカ	88.2%
5	ウィーン	オーストリア	88.0%





- (※1) OAG (オフィシャル・エアライン・ガイド)アビエーション ワールドワイドリミテッド社
イギリスに拠点を置く航空機運航情報会社。世界の航空関連データに関する収集や提供を行っている。



- (※2) OAG Punctuality League 2014
2014年(暦年)の世界の定期便運航データから、定時から15分未満に出発/到着した便の割合を算出し、カテゴリー別に定時運航率ランキングをまとめた報告書。
- (※3) 中規模空港
定期便提供座席年間総数が1,000万席~2,000万席の空港

